

●他党派の一般質問の概要をご紹介します

**上田秀男（新政・北桑田郡及び船井郡） 1999. 10. 1**

1) **教育問題** ①総合的な学習にどのような指導方針で取り組むのか②学力低下を来たさないための教科書指導。

【教育長】 特色ある学校づくりをめざし、協力体制を小学校10校、中学校6校を指定。教育センターでも重点的に研修する。

2) **農業問題** 「中山間地への直接支払制度」に関連して ①制度実施にあたって公平性の確保とともに、市町村の財政負担が過重とならない様国に働きかけること（要望）②制度の適正な運用と効果を発揮させるために既存施策の拡充を含めて、総合的な対策が必要と考えるが。

【知事】①集落機能の活性化をはるとともに、野菜や花きなど付加価値の高い農産物の導入を促進し、農林業の領域を農産加工、グリーンツーリズムなど2次、3次産業を加えた交流型産業へ拡大し、中山間地域を活性化していく。また定住化の促進については、平成9年に策定した「中山間地域の活性化指針」に置いて、府内の中核的な都市と周辺の中山間地域等が互いに機能を補完し合い、都市的なサービスと美しく豊かな自然環境を享受できるふるさと共生圏構想を提示している。現在、庁内のプロジェクトチームで指針に基づく施策の進め方を研究している。新しい総合計画の中で構想の具体化を検討していく。

3) **林業振興** 府内産材の利用促進を図るために①京北町が6月からスタートさせた「林業の活性化戦略」事業についての評価、対応②府内産材を使用した住宅については、京都府住宅供給公社の住宅建設死金融制度の優遇制度が利用できるが、貸し付け状況は。制度の改善、活用促進対策③林道整備。

【農林水産部長】①地元の力強い意気込みを感じ高く評価している。再生産可能な資源である木材の活用促進と、森林やその恵みに触れ合いながら森林の文化的価値を再発見することは、林業振興ははもとより、地球環境にやさしい新しいライフスタイルづくりにつながる。府としても構想の具体化に向け各種制度を活用しながら支援していく。②丹波広域林道をはじめ南丹地域において農用地総合整備事業で計画されている官製農道などと林道や作業道を葉脈状に組み合わせるなど、林業振興と山村地域の生活に役立つ整備に努める。

4) **道路問題** ①京都縦貫自動車道の工事進捗状況。丹波綾部間、国道27号下山バイパスの進捗状況、今後の方針②国道126号の早期改修、栗尾トンネル、九鬼ヶ坂峠、高雄バイパス、川東工区など未改良区間の整備計画。

【土木建築部長】 ①用地確保70%②300メートル掘削がすすんでいる。

5) **畑川ダム建設** 今後の事業予定、完成の目途。

【土木建築部長】 本年3月、専門家の協力を得て。